



Title	報告Ⅲ 『フフ・トグ(青旗)』研究における諸問題 : データベース構築を中心として
Author(s)	都馬, バイカル
Citation	OUFCブックレット. 2016, 9, p. 24-27
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/55510">https://hdl.handle.net/11094/55510</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 『フフ・トグ(青旗)』研究における諸問題 ——データベース構築を中心として

都馬 バイカル

### 1. 『青旗』研究会について

#### 1) 設立の経緯

モンゴル人留学生が新潟産業大学に初めて入学したのは1997年4月からである。今まで、中国（内モンゴル自治区、青海省、新疆ウイグル自治区）、モンゴル国、ロシア（ブリヤド共和国）から、500人以上のモンゴル人学生が新潟産業大学で勉学に励み、そのうち、200人が日本の各大学の大学院に進学した。

日本の各大学の大学院に進学したモンゴル人学生の横のつながりを深めるため、それに加えて、近代内モンゴルに関する基本的な文献を解説させ、資料の整理・分類などの研究方法を習得させるために、この研究会が発足した。

#### 2) 研究会の目標

研究会は2009年に設立して以来、毎年2回例会を開き、『青旗』紙の目次作成とそのローマ字転写、日本語訳及び内容解説などの作業を行い、多種の問題点について議論しながら研究を進めてきた。発足当初、約50名の学生OBと他大学教員3名が参加していた。2014年から、主に大学院博士課程の在籍者もしくは修了者の約20名と他大学の教員3名が中心メンバーとして、下述の目標に従って研究活動してきた。

研究会の最終の目標は、『青旗』に関する以下の作業を完成させることである。

- (1) ローマ字転写、日本語訳のデータベースの構築
- (2) モンゴル語の目録索引を作成
- (3) 日本語とモンゴル語対照 『青旗』用語集の編集
- (4) 『青旗』辞典の編集（モンゴル語）
- (5) 分類資料集の編集（モンゴル語）

（文学、宗教、人物、教育、経済、軍事、政治、社会、文化、芸術、衛生医療、文物、地理、写真、書道、徳王政権、外蒙、その他。合計30冊）

## 2. 『青旗』研究における諸問題：データベース構築を中心として

日本の統治により、モンゴル地域で近代義務教育が徹底的に行われ、その結果、若者の識字率が高くなり、新聞が読める民衆が増えた。『青旗』紙は主に「政治誘導、情報伝達、文化開花」などを目標として刊行されていた。しかし、満洲国では、最初のモンゴル語総合新聞ということで、編集者の学識レベルと経験不足により、誤字が多く、専門用語が統一されていないなどの問題が存在している。それがデータベース構築上手間取る原因となっている。ゆえに、今回の報告では、とりあえず 1941 年 5 月分、即ち 5 月 10 日（第 8 号）、17 日（第 9 号）、24 日（第 10 号）と 31 日（第 11 号）を実例として、データベース構築における諸問題を取り上げて検討したい。

### 1) 問題：同語異字

国名、地名などを記録する際、2 種類に表記している。

青旗 1 doysisu, 青旗 2 girmani, 現代表記 german	意味：ドイツ（国名）
青旗 1 nibbun, 青旗 2 nibpun, 現代表記 yapun	意味：日本（国名）
青旗 1 bou teü, 青旗 2 boutu, 現代表記 bovutu	意味：包頭（地名）

### 2) 問題：誤字

青旗 ǰalaɣuu	標準表記 ǰalaɣu	意味：若者
青旗 suraɣčit	標準表記 suruɣčit	意味：学生
青旗 durasɣal	標準表記 durasqal	意味：記念
青旗 čirig	標準表記 čerig	意味：軍
青旗 ǰayiluqu	標準表記 ǰayilaqu	意味：植える
青旗 aɣuudam	標準表記 aɣudam	意味：広い
青旗 čiber	標準表記 čeber	意味：清潔
青旗 ömdege	標準表記 öndege	意味：卵
青旗 ireke	標準表記 irekü	意味：来る
青旗 egürege	標準表記 egürge	意味：任務
青旗 qara	標準表記 qar-a	意味：黒
青旗 sira	標準表記 sir-a	意味：黄
青旗 bolut	標準表記 bolun	意味：及び、と
青旗 toohiyu	標準表記 tookio	意味：東京
青旗 ǰakiruqu	標準表記 ǰakirqu	意味：支配
青旗 čomuy-a	標準表記 čomu	意味：コップ
青旗 ermelǰijü	標準表記 ermelǰijü	意味：望む
青旗 sonusval	標準表記 sonusqal	意味：情報

青旗 amisvul	標準表記 amisqul	意味：気温
青旗 boljijy-a	標準表記 boljuv-a	意味：約束
青旗 emgen	標準表記 emegen	意味：老婦

### 3) 問題：格助詞の誤用

青旗 qimege-ü	標準表記 qimege-yin	意味：声の
青旗 qotan-yin	標準表記 qutan-u	意味：町の
青旗 ertese	標準表記 erte-eqe	意味：前から
青旗 bičig-yi	標準表記 bičig-i	意味：本を

### 4) 問題：専門用語

青旗にかぎっては、近代語彙を主に日本語から借用し、中国語からも多少借用したように見える。例えば、会議は qural jübdel、あるいは qural jüblel と文字通りに翻訳している。qural を「集会」、jübdel と jüblel を「協議・相談」という意味で取り込んでいる。現在は qural あるいは quralduvan で定着している。参事官を san Si güwan と日本語中国語両方の発音から借用している。

### 5) 問題：校正の問題

編集者のいい加減さより、文章構成のミスが目立っている。

例えば、『青旗』第8号第2頁に「amidural-i aliba xajar bükün-e kögğigülkü qural-un ger-i bayıxulun bötegekü」という文章があるが、直訳は「生活をすべての地域で向上させる会議室を設置」と読み取るが、元の意味は「全ての地域に裕生会の(事務)室を設置」(aliba xajar bükün-e amidural-i kögğigülkü qural-un ger-i bayıxulun bötegekü) というべきであろう。それは、「aliba xajar bükün-e」を「amidural-i」の前に配置したことによるミスである。

また、『青旗』第8号第1頁の「ドイツの物質使節団を歓迎」と「天長節の記念日を満洲国に開催」という2枚写真の説明文を入れ間違っていた。

## 3. 検討すべき点

上述した諸問題を考えながら、以下のことについて検討したい。

#### 1) 作者、報告者等の名前について(例：文学作品、報告など)

データベースは文章のタイトルにより作成しようと想定しているが、その際、文章、特に文学作品や情報提供者の氏名を記入する必要があるかどうか。

#### 2) 欄のタイトルについて

『青旗』紙には、「児童の青旗」、「西蒙古の情報」、「文芸欄」、「健康・家庭及び修身」、「家畜」、「読者からの手紙」、「科学」、「物語」、「各校の来訪」、「子供の科学」などの欄が

あり、一つの欄に数編の文章がある。欄のタイトルをデータベースに記入するかどうか。

### 3) 転写基準について

モンゴル語に転写する際、転写の方式を決めなければならない。ポッペ方式、小沢方式、栗林方式などがある。例えば、「*öüxčj*」などの特別な文字をコンピューターで直接表示できないので、手間取ることになる。

### 4) モンゴル語の誤字について

上述した『青旗』誌における誤字については、原則はモンゴル文字をそのままに表記し、ローマ字で転写する際、修正するのが良いではないかと考える。

### 5) 専門用語問題

『青旗』紙における地名と国名及び行政機関名などの専門用語は、当時、近代語彙としてはまだ完全に統一されていなかったのであるが、データを日本語で入力する際には、専門用語を統一する必要性が出てくる。

### 6) 翻訳の問題

タイトルを翻訳する際、専門用語を当時の日本語表記にするか、あるいは、現代日本語表記にするか。

『青旗』紙は、モンゴル語定期刊行物の発展史において、特別な意味を持っている。植民地、もしくは占領地の性格を持ちながら、満洲国のモンゴル民衆を対象とした最初の新聞で、読者層に多大な影響を与えたのは言うまでもない。それ以前の定期刊行物のほとんどが、特定の階級やグループを対象にして編集されていたことと根本的な違いがある。

研究会の最終目標を達成するには、長期的な、かつ緻密な作業が必要だと考える。